

# R8年度の周知・広報WGの取組案

---

- ① ADRの利用状況に関する調査
- ② 自治体向け説明会の開催
- ③ 解決事例のアップデート

# R8年度の周知・広報WGの取組案①

## ● ADRの利用状況に関する調査

ADRがなぜ利用されないのか、その根本的な原因を調査  
(比較的利用件数の多い特定の事業者を選定し、利用件数の少ない事業者との比較・分析を行う)

  
調査結果に基づく効果的な周知・広報の実施に繋げる

### 周知・広報WGにおける取組・検討(予定)

- 調査対象とすべき事業者、調査方法の検討
- 選定事業者等へのヒアリング実施
- 調査結果を踏まえた効果的な周知・広報の方策を検討

## R8年度の周知・広報WGの取組案②

### ● 自治体向け説明会の開催

ADR・ODRに関する説明を希望する自治体を募り、オンラインで説明を行う。

(R7オンライン・フォーラムで使用した資料を活用)



自治体職員の認証ADRへの理解が深まる

自治体の相談窓口が適切な認証事業者を利用者に案内できる環境を整備

#### 周知・広報WGにおける取組・検討(予定)

- 説明会の開催方法の検討、自治体向けに提供すべき情報の整理
- 改正民法施行後のADR利用状況に関する情報を収集し、自治体に提供する情報に反映

## R8年度の周知・広報WGの取組案③

### ● 解決事例のアップデート

認証事業者から解決事例を収集し、利用者の参考となる好事例を選定してかいけつサポートHPで発信



解決事例のアップデート(現在公表している事例はH29公表)  
かいけつサポートHPの情報基盤としての有用性向上

#### 周知・広報WGにおける取組・検討(予定)

- 公表に適した解決事例の選定
- 効果的な周知方法の検討

# R8年度の実装・AIWGの取組案

---

- ① 海外調査研究に向けた検討
- ② かいけつサポートHPの機能向上に向けた検討
- ③ AIに関する活用可能性の検討

# R8年度の実装・AIWIGの取組案①

## ● 海外調査研究の実施に向けた検討

オーストラリアのODRプラットフォーム（「amica」）におけるAI活用の状況を含めた令和8年度調査研究の調査事項を検討する。



先進的なODRのデザインとともにその活用可能性を周知することにより、認証事業者のODRの実装を促し、ODRの利用促進を図る。

### 実装・AIWIGにおける取組・検討(予定)

- 「amica」調査研究における具体的な調査事項の検討
- 「amica」におけるAI活用の状況を踏まえた「ODRにおけるAI活用可能性」のリバイスの検討

## R8年度の実装・AIWVGの取組案②

### ● かいけつサポートHPの機能向上に向けた検討

かいけつサポートHPの閲覧者の最新の動向の分析を行うなどした上で、ODRのメリットが閲覧者に認知され、ODR手続の利用へと繋がる効果的な導線設計やHPの在り方について検討する。



HPの利便性向上を通じてODRの利用件数を増加させ、ODR実装事業者の更なる拡大と参入意欲の喚起を図る。

#### 実装・AIWVGにおける取組・検討(予定)

- HPの閲覧者の最新の動向等の把握分析
- 導線の改善やコンテンツの充実等のかいけつサポートHPの在り方について検討

## R8年度の実装・AIWGの取組案③

### ● AIに関する活用可能性の検討

最新のAIガイドライン及び認証事業者のAIの活用状況等を踏まえ「ODRにおけるAIの活用可能性」のリバイス等のAI導入支援策を検討する。



認証事業者がAIを活用したODRモデルを採用することにより、ODRの利便性が向上し、利用者の増加につながる。

#### 実装・AIWGにおける取組・検討(予定)

- 最新のAIガイドラインの内容を把握し、「ODRにおけるAIの活用可能性」のリバイスを検討
- ODRにAIの活用又は活用を検討している事業者等からヒアリングを実施